

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|---------------|
| 補助金 | 16,130 | 医療施設等施設整備費補助金 |
| 合計 | 16,130 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・ MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) による院内感染が問題となったことを踏まえ、平成6年度に創設された国庫補助金。

(2) 後年度の財政負担

- ・ 令和3年度までの2ヶ年の継続事業であり、今後の財政負担は発生しない。

事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）などの耐性菌の増加に伴い、院内感染症に適切に対応するため、病院の個室化を促進することにより、患者のプライバシーを保護するとともに、院内感染の拡大防止を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 (前々年度末時点) | 目標 | 達成率 |
|-----|-------|-------|------|------------------|------|-----|
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (H) | % |

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関の計画に基づく施設整備に対する補助であるため、目標の設定ができない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

院内感染対策として個室の整備を実施する1病院に対し、補助金を交付予定。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

院内感染対策として個室の整備を実施する1病院について、令和2年度から3年度までの2カ年事業により整備が完了する予定。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| (評価) ○ | 院内感染防止対策への補助により、県民への安全・安心な医療の提供に資するものであり、事業の必要性が高いと言える。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) ○ | 整備を計画している医療機関では、院内感染の拡大防止が図られる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| (評価) ○ | 事業実施主体において競争入札により経費を節減しており、効率化が図られている。 |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 整備した個室において、院内感染対策が適切に行われているか、継続的に確認する必要がある。 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も院内感染者のための個室整備を行う病院、診療所については、引き続き取り組みを支援していく。 |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | 【○○課】 |
| 組み合わせる理由や期待する効果 など | |